■ 台湾大学

Chinese expression in web pages

１．文字敘述整體而言非常通順且能夠達意。但在幾處有輸入筆誤（例如：關系→關係、人生狂言→壬生狂言、記裁→記載、距离→距離、壬生冢→壬生塚、）。

２．某些語句的陳述方式與文法，有些還未脱日文型式，例如：流浪武士的集合，若寫作流浪武士的聚落；他們要訓練火砲，改爲他們要進行火砲的訓練；我們把京都站大樓介绍一下，改爲我們在此介绍一下京都車站大樓，可能比較貼近一般的繁體中文用法。

３．在内容中常常可以看到繁簡體没有變換好的字詞，例如電視劇里寫成電視劇裡，与真言宗寫成與真言宗、來弘法市場罷寫成來弘法市場吧等，有相當多處有此類問題，建議可以再仔細做一次字詞繁簡轉換的檢驗，會讓整體感覺更好。

Interface designs of web pages

１．圖文並茂的介面能夠吸引讀者的注意力。不過在一開始點選繁體中文進入之後所看到的列表選單上，是簡體中文與繁體中文並列的選單，使用者可能會覺得有點混淆。繁簡不同體的選項容易辨認：如金閣寺；但繁簡同體的選項就不知道哪個是繁體哪個是簡體了，如壬生寺。

２．進入每一個景點介紹頁之後，没有回到上一層選單的按紐。若有的話，可更完整地導覽使用者瀏覽整個網站。

Appropriateness of classification by categories and map

１・可以由主題和地理位置兩種不同的分類來瀏覽，是非常貼心的設計。

２・「金閣寺」與「輝煌的金閣寺」、「渡月橋」與「玩在嵐山、食在嵐山」内容有重覆的地方但卻刻意分成兩個頁面，可能容易造成混淆。

Interest of contents

内容有趣且搭配圖文説明非常生動，除了一般的觀光資訊之外還增加了許多的典故或軼聞軼事，增添許多趣味。

Based on culture of your country

整體而言大致符合可理解的文化程度，但用字遣詞上還是偏向簡體中文的敘述方式，若能夠稍微參考部份繁體中文旅遊書籍，做一些調整則品質可以更好！

Usefulness as sightseeing information

本網站有助於瞭解所介紹景點（京都）的歷史與文化價值。但整體而言，若以提供觀光資訊爲目標的話，在文字的寫作風格、内容豐富度與結構安排等方面，可能需要再做加強統整。

Understandable Kyoto culture from this website

本網頁最大的特色即在於成功地將京都的文化資訊融入在旅遊資訊中，不論是整體網站的安排上以及内容的撰寫，都能夠看出學生們用心設計的努力與規劃！

Hsiu-Ping Yueh
Associate Professor
National Taiwan University

ウェッブ･ページ上の中国語の表現

1. 文章の記述を全体的に見ると、流暢であり理解しやすいのです。しかし入力のミスはいくつかがあります（例えば、関系→関係、人生狂言→壬生狂言、記裁→記載、距离→距離、壬生冢→壬生塚)。
2. 文章の表現と語句の文法に関しては、日本語の文型から完全に離れられない部分もあります。例えば、以下のように書き換えたら一般的な繁体字中国語の文法により近づくでしょう。「流浪武士的集合」→「流浪武士的聚落」、「他们要訓練火炮」→「他们要進行火炮的訓練」、「我们把京都站大樓介绍一下」→「我们在此介绍一下京都车站大樓」。
3. 文章の中において繁体字中国語と簡体字中国語との混用はしばしば見られます。以下はその例です。「电视劇里」を「电视劇裡」に間違え、「与真言宗」は正しいが「興真言宗」は間違い、「來弘法市場罷」はあるが「來弘法市場吧」はありません。このような混淆が多発しているため繁体字と簡体字の切り替えをもう一回徹底的に検査するよう提案したいと思われ、そうした場合文章の全体的な感覚は一層よくなるでしょう。

ウェッブ･ページのインターフェイス

1. 綺麗な写真と適切な説明からなるホームページはユーザーの関心を引き付けるが、繁体字中国語のページにクリックしたら簡体字中国語のカテゴリも出て来るので、ユーザーに戸惑わせる可能性もあるのではないでしょうか。つまり、「金閣寺」のような繁･簡体字の使い分けは明らかなケースもあるが、「壬生寺」の場合では繁･簡体字ともに使われているためその区別は難しくなります。
2. それぞれの観光スポットのページに入ったら、前ページに戻るボタンはありません。もし設置できればユーザーはホームページの全体をより流暢的に見られるでしょう。

分野および地図の分類における妥当性

1. タイトルと地理位置という 2 つのカテゴリからともに検索できる設計は、ユーザーの使いやすさに非常に気を配られています。
2. 「金閣寺」と「輝煌的金阁寺」の内容は重なっている部分があるため、2 つのページに分けたことによってユーザーに混乱させる可能性もあると思われます。「渡月橋」と「玩在嵐山，食在嵐山」のところも同じです。

内容の面白さ

綺麗な写真と適切な説明が生き生きしているため内容は面白いのです。一般的な観光インフォメーション以外に、数多くの物語とエピソートが盛り込まれたことによって楽しさが倍増します。

日本文化の視点から

文章を全体的に言うと大体理解できるレベルに達していますが、言葉遣いに関しては簡体字中国語の表現に傾いていると考えられます。繁体字中国語のガイドブックをもっと参考し、表現のしかたを調整できればよりいい文章を作れるでしょう。

観光情報としての実用性

当該ホームページは京都の歴史と文化価値を理解してもらうことに値があります。しかし観光インフォメーションの提供を目的にしようとしたら、文章作成のスタイルや内容の豊富さ・構築などにおいては文章の整合性を工夫する必要があるでしょう。

京都文化の理解度

当該ホームページの最大な特色は京都の文化を有機的に観光インフォメーションに盛り込めたことです。ホームページ全体の構築及び文書の作成においてはいずれも学生達の心がけと努力を感じられます。